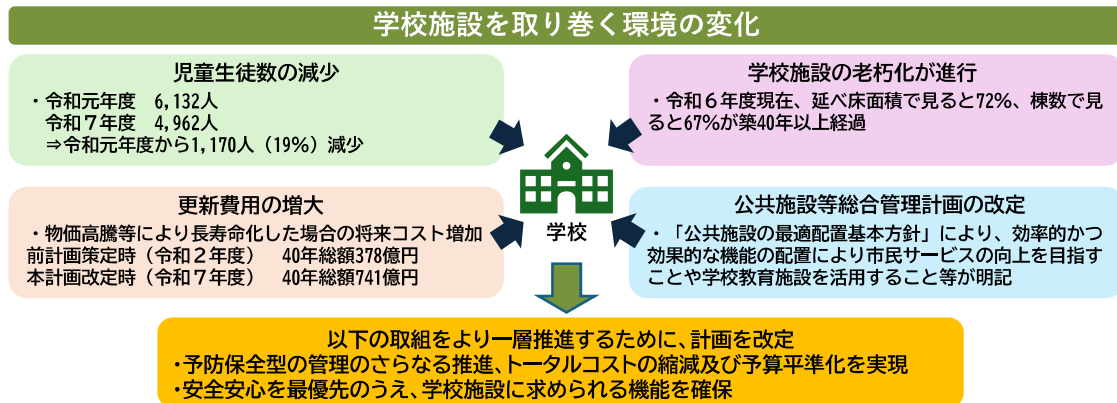










○見直しの背景と目的



○主な改定内容

項目	改定計画	前計画
学校施設の目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の課題を踏まえ学校施設の目指すべき姿を整理 ・ 確かな学力と豊かな心と体を育む教育環境の整備（ソフト面） ・ 子どもが安全で安心して、快適に学べる施設の整備（ハード面） ・ 教職員の負担軽減や地域コミュニティや防災の拠点施設の整備（施設マネジメント面） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな学力と豊かな心と体を育む教育環境の整備 ・ 子どもが安全で安心して学べる施設の整備 ・ 地域コミュニティや防災の拠点施設の整備
学校施設の規模・配置計画等の方針	<p>現段階では現在の配置を維持するが、公共施設等総合管理計画に基づいて、今の教育水準を維持・向上させることを前提として、学校規模の適正化や複合化について、まちづくりの視点で全庁横断的な調査研究を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として現在の配置を維持
改修等の基本的な方針	<p>これまでの基本方針に「必要な機能の整備」を新たに加え、新たな教育ニーズに対応するため、真に必要な学校施設を検討し、省エネルギー化、必要な教室・設備の整備を進めるなど、可能な限り良好な教育環境の確保を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設の長寿命化改修 ・ 地域における公共施設の集約化や複合化 ・ 既存学校教育施設の適切な維持管理
目標使用年数、改修周期	<p>校舎/体育館/柔剣道場/機械室</p> <p>目標使用年数 85年～90年、大規模改修の周期築35年、長寿命化改修の周期築55年</p> <p>プール附属棟は、今後の水泳授業の適切な実施とプール管理の負担軽減を両立する仕組み作りを検討する</p>	<p>校舎/体育館/プール附属棟</p> <p>目標使用年数85年、大規模改修の周期築35年/70年、長寿命化改修の周期築55年</p>
維持・更新の課題と今後の方針	<p>前計画の方針に加え、学校規模の適正化や複合化を検討し更新コストを削減、将来の学校施設のあり方に関する全庁横断的な調査研究の進捗を注視しつつ必要な工事には速やかに着手、各年度の工事費平準化を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国庫補助制度等を有効に活用するとともに基本方針の更なる推進を図る

分野		B教育・学習											
小分野		1 学校教育											
コード等	B-1-2					強(重)		創	予算	一般会計	9 款	2 項	3 目
事業名	小中学校施設改修等事業							一般会計		9 款	3 項	3 目	
SDGs							担当課 (左上が事務局)		教育総務課				
事業概要	目的	安全安心を最優先に、社会状況の変化に対応した学校施設に求められる機能を確保する。											
	内容	学校施設の長寿命化計画に基づき、校舎等の大規模改修工事を行う。											
年度別計画	R 8	《大規模改修》校舎工事（桜台小）・校舎一部工事（桜台中）											
	R 9	《大規模改修》柔剣道場実施設計（七次台中）											
	R 10	《大規模改修》体育館実施設計（池の上小） 《大規模改修》柔剣道場工事（七次台中）											
	R 11	《大規模改修》体育館工事（池の上小） 《大規模改修》体育館実施設計（桜台小） 《長寿命化改修》校舎基本計画（白井中） 《大規模改修》体育館基本設計（桜台中）											
	R 12	《大規模改修》体育館工事（桜台小） 《長寿命化改修》校舎・体育館基本設計（白井中） 《大規模改修》体育館実施設計（桜台中）											